

平成 22 年 3 月 23 日、近隣との市町村合併により久喜市となった鷺宮町。この作品はそれよりちょっと前の鷺宮町を舞台とした、鷺宮町の地域振興のための、鷺宮町の地域振興のための PR 映画をつくるというストーリーの PR 映画…言葉で表すと何ともややこしい。では、改めまして。

アニメ『らき☆すた』の舞台となったことで、アニメファンの「聖地」として町おこしに成功、更なる地域振興に精を出す鷺宮町。その一環で地元商工会から鷺宮出身の主人公、宮田隆（上鶴徹）に鷺宮の PR 映画の製作が依頼されて物語は始まる。（ただし、冒頭は少し覚悟していないと呆気にとられてしまうかも。その訳は見てからの楽しみということ。）当初はオタク文化振興の町へと変貌した故郷に辟易し、映画を撮るのにもイマイチ気が乗らない主人公だが、幼馴染で巫女少女の鷺尾桜子（増田有華）に檄を飛ばされたり、協力してくれる友人達と衝突、和解したりを経て、やがてアニメ文化による地域振興を理解し、鷺宮の本来の魅力も再発見していく。そうして完成した映画は鷺宮町民の御眼鏡にかなうのか…。

ひねくれた展開のない、強いて言うなら主人公とヒロインが意外とくつつかない位の、割と王道の青春ストーリーですが、劇中そこかしこに敷き詰められた、わかる人にはわかる小ネタの数々。見れば見るほど発見が、噛めば噛むほど旨味が…そんなスルメのような作品です。だからこそ見る人の知識・嗜好によってツボもきつとバラバラ。

また、地域 PR 映画ということでキャストに素人がとても多いのも特徴的。メイン俳優の数人以外は、ほとんど地元とアニメファンの方々！当時の商工会長や鷺宮町長までもが出演しています。その為、あちこちでベタ…じゃなくて純朴な演技が光りますが、それはご愛嬌。素人キャストの方々がノリノリなのが何より微笑ましい限りです。

余談ですが、この作品でヒロインを演じた AKB48 の増田有華さん。第三回 AKB 総選挙で第 20 位、選抜メンバー入りを果たすという、脂の乗った彼女の貴重な映画処女作として、地域振興の一例としてなど、色々な観点から鑑賞もできるこの作品。地域限定なので天下の Amazon にだって置いていない、ある意味レア物です。鷺宮にお立ち寄りの際は、土産に買ってみるのも良いかもしれません。地域 PR 映画はステータスだ！

小松遼貴（学生・学部 1 年）